

## 南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」

### 1 南部クリーンセンター第二工場の概要

本年10月の稼働に向け建替え整備工事を進めている南部クリーンセンター第二工場については、ごみの焼却、選別資源化（鉄及びアルミニウムの回収）に加え、ごみ発電の高効率化を図るとともに、バイオガス化施設を併設し、生ごみによるバイオガス発電を行うことにより、ごみの持つエネルギー回収の最大化と温室効果ガスの削減を目指します。

また、併設する環境学習施設については、ごみ処理に要する大規模な施設を間近に見学し、それらを教材として、世界最先端の環境技術を学べるものとするとともに、生物多様性や再生可能エネルギー、環境面から見た横大路地域の歴史等の幅広いテーマを取り扱い、あらゆる世代が楽しく学べる、魅力溢れる環境学習の拠点とします。

### 2 環境学習施設（愛称：「さすてな京都」）の構成及び学びのイメージ等について

#### (1) 施設の構成

管理棟 1階	エントランス (240m <sup>2</sup> )	環境学習の必要性など、基本的事項を学ぶ
	企画展示室 (90m <sup>2</sup> )	常設展示や企画展示により生物多様性や地域の自然環境を学ぶ
	セミナールーム (100m <sup>2</sup> )	小規模でのセミナーやワークショップ、工作など多様なプログラムを学ぶ
	アーカイブ (140m <sup>2</sup> )	環境・地域関連のデータを収集・保存したアーカイブで、データを基に学ぶ
管理棟 2階	展示室 (190m <sup>2</sup> )	最先端の環境技術やエネルギーを体感しながら学ぶ
	広報室 (200m <sup>2</sup> )	環境学習のオリエンテーションや研修等により、映像・音響を活用しながら学ぶ
管理棟 屋上 (1,160m <sup>2</sup> )		芝生広場を設けるとともに、京都にゆかりのある植物を配し、生物多様性について学ぶ
工場棟 見学者通路 (2,130m <sup>2</sup> )		プラットホームやごみクレーンなどごみ処理の実機を見て学ぶ
煙突棟 展望台 (120m <sup>2</sup> )		京都ならではの素晴らしい眺望景観を一望するとともに、横大路地域の歴史や地勢等を学ぶ
屋外 ビオトープ (100m <sup>2</sup> )		地域本来の生態系の復元をテーマに、生物多様性について学ぶ

#### (2) 学びのイメージ（別添参照）

- ごみ減量はもとより地球温暖化、生物多様性、環境面から見た横大路地域の歴史等幅広い分野を対象として、ライフステージに応じたプログラムを作成し、体験型を中心にした子ども向けコンテンツ、インパクトのある映像等を中心にした大人向けコンテンツを各所に配置することにより、楽しみながら学習していただきます。
- 「IPCC 京都ガイドライン」及び「1.5℃を目指す京都アピール」を踏まえた地球温暖化対策の推進、食品ロス削減、使い捨てプラスチック削減等といった喫緊の重要課題についても、市民の皆様の主体的な行動に繋げていただけるよう、展示の中で分かりやすく発信いたします。

- 御家族連れで何度もお越しいただけるよう，家族団らん，くつろぎの場としての屋上芝生広場の開放，来場者の声を踏まえた学習プログラムの継続的改善等を行います。
- 昨年度から地域の小学校である横大路小学校において，かつて地域に存在した横大路沼や巨椋池の生態系の復元をテーマに，環境学習施設のビオトープに移植する植物の育成に取り組んでいただくなど，地域との協働による取組も積極的に進めます。

### (3) 「さすてな京都」の由来及び運営の概要

- 最先端の「さ」，素晴らしいの「す」，展望台の「て」，南部クリーンセンター「な」の頭文字と，「持続可能な」という意味の「サステナブル」を合わせました。
- たくさんの方々に御来場いただけるよう，土日祝日も開館するとともに，事前予約なしで見学できるようにします。
  - ※ 休館日：水曜日（祝日の場合はその翌日）及び年末年始（12月29日～1月3日）
  - ※ 開館時間：午前9時から午後5時まで

### 3 今後のスケジュール（予定）

- 10月1日（火）：南部クリーンセンター第二工場稼働
- 10月5日（土）：「さすてな京都」開館，オープニングイベント開催

# 環境学習施設「さすてな京都」でのライフステージに応じた学びのイメージ

## ■体験型を中心にした子ども向けコンテンツ

最新の廃棄物処理設備を体感できる！

- ・迫力満点の工場見学では、**フラント機器を間近に見ながら移動するシースルーエレベータ**、**焼却炉そっくりの炉内体感通路**や**模擬ごみクレーンバケット**、**本物のごみクレーン運転台を使ったシミュレーター**で楽しく見学ができます。
- ・小学校の**社会見学は、楽しいストーリーが展開**。見学の最後にはみんなの選択で結果が変わるマルチエンディング。
- ・団体見学ツアーだけでなく、親子連れなどの**予約なしでの工場見学ができる**定時催行ツアーを開催（土日祝日）。

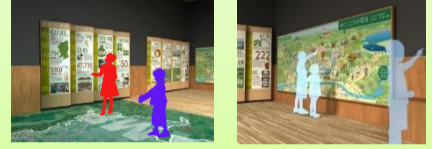


ホンモノの運転台でクレーン模型を稼働

タブレットのAR機能で、燃えている炉内の様子を再現

数字やイラストで学べる！

- ・**食品ロス削減**、**使い捨てプラスチックごみ削減**などの環境問題について、**数字やイラストで分かりやすく示し**、親子で学べます。



体験型のコンテンツで楽しく学べる！

- ・ジオラマでは自転車発電で電車が運行し、足踏み発電で五山の送り火が点灯。**発電を楽しみながら学べます**。
- ・環境クイズは、顔写真を撮ってスタート！**様々な環境問題に見事に正解すれば、撮った顔写真がゲーム画面内に表示されます**。



SDGsを紹介するコーナーにはSDGsアイコン色のボールプールを設置。

ワークショップの内容は日ごとに変ります。

リサイクル工作教室や観察会で楽しく学べる！

- ・土日祝日や夏休みなどの期間には、リサイクル材を使った工作教室など**環境を題材とする楽しいワークショップ**を開催。
- ・ピオトープの**自然観察会**で**生きものの不思議を発見**。**生物多様性の大切さ**への気づきも促します。



展望台では実際に見えているものをARを用いて解説。また、昔(近世)の横大路沼・巨椋池を再現した風景イメージを360度VRで再現。

企画展示室での展示のほか、自然観察会ではフィールドで生物多様性の大切さを学びます。

## ■インパクトある映像等の大人向けコンテンツ

インパクトのある映像や数字で環境への関心を高めまます

- ・施設入口の大型サイネージは、**見学者の動きを感知して表示内容が変化**。
- 沢山の画像の中から、気になる画像を調べることができます。



さまざまな分野の画像が動いています。何気なく触れた画像からいろんな発見をしていただけます。

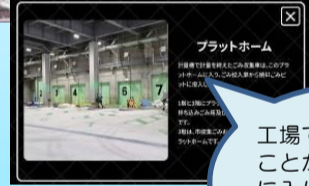


例えば、ブルタブ、水銀(体温計)、黒いごみ袋、社会的に解決してきた課題を紹介しします。

- ・昔にあって、今はなくなったものを、**めくりパネルで紹介**。親子で一緒にめくって、なぜなくなったかを学べます。

タブレットを使った学び

- ・**AR・VR技術を用いて**、展望台眺望や、クリーンセンターの設備について、より深い学びができます。
- ・スタンプラリー機能を付加し、**個人でも楽しく工場見学**が行えるだけでなく、**多言語対応によりインバウンドにも対応**した見学が可能です。



工場では実際に入ることができない場所に入り込んだ視点からの眺望を360度VRで再現。

より専門的な環境学習講座の開催

- ・環境配慮意識・行動の浸透からよりレベルの高い内容をお伝えする**一般向け生涯学習講座**を展望台の眺望や工場見学と合わせて実施します。
- ・大学生のゼミとして活用したり、海外留学生の学習の場として活用できるように、**ニーズに応じた学習プログラム**を開発し開催します。

## ■家族で何度も楽しめるコンテンツ

くつろぎの空間の創出

- ・**屋上の芝生広場**では**家族でお弁当**を広げられます。また、フジバカマなど**京都の文化ゆかりの植物**を見ながら、**足湯**を楽しめます。



また来たくなるように常に工夫

- ・施設・展示の楽しみ方をガイドする**ワークシートを多数用意し、入れ替えて掲示**。家族で**何度も**楽しめます。
- ・土日祝日や夏休みなどの期間に開催する**楽しいワークショップ**は、**定期的に見直し、ニーズに応じて更新**していきます。

指図書、工作用紙、スタンプシートなどの形を使って、いろんな楽しみ方をたくさん提案します。

1年に1回はプログラムの点検を行います。

## ■事業者向けコンテンツ

企業研修の場としての活用

- ・クリーンセンターに隣接するという特性を生かして、**ごみ減量・分別等の実践などをはじめとする企業(社員)向け学習プログラム**を開催します。

持続可能な社会の実現のためには、事業者も大事な役割を担います。事業者の皆様との学びも進めていきます。

## ■修学旅行生・観光客向けコンテンツ

京都議定書誕生の地から京都ガイドラインを発信

- ・環境先進都市京都として、京都議定書からパリ協定を、さらには**IPCC京都ガイドライン**や**1.5Cを目指す京都アピール**を発信します。
- ・京町家など、**京都ならではのエコな暮らしや、しまつの取組を紹介**します。

市民の皆様はもとより、京都を訪れる方々にも知っていただきます。